

ひまわりだより



秋も深まり、ノロウイルスやインフルエンザの流行が懸念される時期になりました。手洗いうがいを徹底して、予防に努めましょう。

さて、昨今の新型コロナウイルス感染症対策で、アルコールや次亜塩素酸水など、様々な消毒液が注目されるようになりました。手作りの消毒液を使用している人もいないのでしょうか？どれも使い方を間違えると効果がないばかりか、危険なこともある薬品なので、今一度それぞれの特徴を確認して、清潔かつ安全に冬を迎えましょう。

2022年11月21日

【消毒用アルコール】



手指にも物にも使えますが、ゴム製品や合成樹脂は変質の恐れがあるのですぐに拭き取りましょう。引火の危険性もあるので、火の近くでの使用には要注意です。また、市販の消毒用アルコールには、飲むと害を及ぼす成分が添加されている場合が多いので、絶対に飲用しないようにしましょう。

ノロウイルスやロタウイルスには効果がありません。

【次亜塩素酸ナトリウム溶液】



素手で触ったり、目や粘膜に触れたり、飲み込んだりしないように注意しましょう！

酸性の洗剤などと混ぜると有毒ガスが発生し、危険です。ノロウイルス・ロタウイルスにも有効で、下痢や嘔吐の時に大活躍な次亜塩素酸ナトリウム水溶液は、ハイター[®]やブリーチ[®]などの塩素系漂白剤を使って手作りできます。数時間～1日で効力が低下するので、使い切れる量を作りましょう。



【次亜塩素酸水】

次亜塩素酸ナトリウムと間違われがちな次亜塩素酸水。市販の製品の中には次亜塩素酸ナトリウムを薄めた別物を次亜塩素酸水として販売している物もあるため、注意が必要です。『手指や物にも使える！』『ノロウイルスにも効く！』と謳っている物もありますが、厚労省の発表しているノロウイルス対策に記載はありません。

10月の利用状況

のべ人数 18名

主な疾患名

急性上気道炎

急性細気管支炎

お問い合わせ、電話受付時間

8:30～16:00

☎ 03-6302-1225(病児直通)

病児病後児保育のご利用は、書類での事前のご登録が必要です。当園ホームページから書類をダウンロードいただけます。ご郵送にて受け付けております。お気軽にお問い合わせください。